

議事録

会 議 名 創青会 議事録

日 時 平成 28 年 10 月 5 日（水）午後 6 時～午後 8 時

場 所 江東西青色申告会 3 階会議室

出 席 者 町野幸史 橋本憲治 森戸登志子 園山八重子 峯田勲 佐藤義雄
川喜田敏夫 牛山美千子 中島暁美 小幡誼子 田中季彦 浅野房江
田中壽裕 橋本クメ子

オブザーバー 大村彰男 白田敏博 森井政彦

欠 席 者 内木建蔵 大野一夫 稲葉三千夫 福與公秀 落合昇 矢野博之
新谷範子 大野恵子 矢野智恵子

会長あいさつ 10 月 3 日の理事会で町野さんが部長に承認されました。
本日、4 ブロック局署合同協議会で創青部の設立報告をしてきましたので、これから江東西青色申告会の為、創青部の活動をお願いします。

部長あいさつ 部長を一期させて頂きます町野です。宜しくお願いします。
会議は創青会とします。第 1 回開会します。

審議事項 議題 1 創青部設立の意味
青年部・女性部を退部した方の活動の場として会勢拡大・退会防止等、本会活動の発展に寄与していただくために設立された。
青年部、女性部、各支部、本会の活動の参加協力をし、楽しい活動をしていく。

議題 2 創青部規約の確認 （生涯勉強の理念のもと・・・）
年齢については原則 65 歳以上となっているが、60 歳以上は入部可能。
部長の思いとして、赤字で記載のとおり楽しい活動をし、会勢拡大・退会防止に寄与する。

議題 3 創青部の役割（目的）
親睦を深め、退会防止、会勢拡大を目指し、楽しい部にしてい
・その為には何をしていくか？
創青会の開催
行事は各部・各支部の行事参加協力、合同企画と気功健康体操
カラオケ

議題4 組織図の説明

① 青色申告会の組織図

江東区は西と東の2会があり、江東西の組織は主に理事会、各支部、各委員会・部会で構成されていて、各組織に担当副会長、事務局職員がいます。

② 支部別創青会のメンバー表（30名前後で活動）現在28名 支部別の役員、担当、所属です。

③ 副部長・委員長 これからの委員

副部長：橋本氏・森戸氏・園山氏(会計兼務)

委 員：峯田氏・牛山氏・中島氏・田中氏

監 事：佐藤氏

議題5 創青部の年間予算 317,000円

使い方 ・交通費の支給（会議 1,000円）

・行事への負担（アバウト折半）

旅行など1万円以上の費用がかかる行事の場合は検討

議題6 年間行事の検討

年間スケジュールの検討

今期は基本として

・健康体操（現在女性部で2回実施）

16時～ 江東西青色申告会3階で実施

第1回 11/16 → 11/24(木) に変更

参加者(敬称略)：牛山・園山・中島・橋本・町野

第2回 12/1(木)

・カラオケの充実（10名～15名）

10/18(火)17:30～21:00

参加者(敬称略)：峯田・牛山・森戸・橋本・橋本・園山・浅野

川喜田・田中・佐藤・町野

・旅行

議題7 女性部・青年部・各支部とのコラボレーション

① 11/5(土) 江戸切子体験入学（マイグラスの作成）

14時・15時・16時で参加者は無料

② 11/17(木) 政治を語る会

③ 各支部の行事への参加

（各支部長・女性部長・青年部長に創青会への出席要請）

議題8 区民まつりの応援参加者確認（敬称略）

橋本・森戸・佐藤・田中・園山・峯田・牛山・小幡・中島・新谷・町野 11名

集合8:30(都民ギャラリー) 売り切れ次第終了

担当は当日事業厚生委員長より指示

区民まつり反省会(10/21(金)18:30)

案内は当日参加者に配布

議題9 会議について
年間2～3回の開催では
4／初 上期の計画
9／初 下期の計画
2／末 翌期の年間計画

議題10 その他
旅行について
豊洲枝川東雲支部開催の旅行予定
11/15～16 黒部溪谷・飛騨高山 トロッコ電車体験

- 報告事項 ① 町野部長承認
以下部長任命役員（敬称略）
副部長は、橋本憲治・森戸登志子・園山八重子(会計兼務)の3名
委員は、峯田勲・牛山美千子（カラオケ担当）
中島暁美・田中季彦(ウオークイベント担当)の4名
監事は、佐藤義雄1名
- ② 部の会議は、創青会とする。
 - ③ 11/24・12/1 健康体操気功体験の実施
 - ④ 10/18 カラオケ大会実施
 - ⑤ 創青会 年間2,3回の開催
 - ⑥ 会報に事業の告知掲載

議事録署名人 28年 10月 11日

町 野 幸 史



※意見交換の過程で以下のような意見が確認された。

- 1. 森下にカラオケのできる場所がある。（来期より）
- 2. 12/7の住吉毛利猿江支部忘年会に参加要請
- 3. 今後、一泊旅行の企画をする際、支部との合同企画を検討
- 4. 各支部や各部の行事参加協力は、企画した支部・部の参加者を優先させるべき
- 5. 支部での交流がないと、本会がどのような運営や事業をしているのかわからない。